

# 逃げるが勝ちの法則

どんな場合にも、争いは避けて通らしましょう。「逃げるが勝ち」です。しかし、自分が間違ったときは逃げてはいけません。潔く認める、謝罪することで信頼を得ます。

## ✓ 議論をさける

スタッフから批判や自分の主張とは反対の意見が出た場合でも、腹を立てるのではなく意見を出してくれたことに対して「ありがとう」と感謝しましょう。たとえ受け入れるのが難しいことであっても「しっかりと考えてみる」約束をしましょう。そして実際に時間をとって考え、考えた事に関して改めて意見を求めてみましょう。

重大な失敗を未然に防ぐ  
きっかけを与えてく  
れているのかもしれない

## ✓ 穏やかに話す

腹が立つときこそ、穏やかに接しましょう。喧嘩腰で話をされて、気持ちよく動いてくれる人はいません。むしろ、反感をもたれてしまい大きな議論に発展する可能性もあります。

優しい打ち解けた態度で  
話し合えば、相手の心  
を変えることもできます

## ✓ しゃべらせる

スタッフの意見を聞いている時に、異議を唱えたくなくても、我慢して最後までじっくり話を聞いてあげましょう。言いたいことが残っている状態でこちらの意見を挟んでも、聞く耳を持つてはくれません。じっくり、辛抱強く待ちましょう。

辛抱強く、身を入れて  
話を聞いてくれる人は  
信頼されます

## ✓ 思いつかせる

だれもが、人から押しつけられた意見よりも、自分で思いついた意見をはるかに大切にします。良い方向へ進めるように誘導し、自主的に行動できるよう、結論はスタッフへゆだねましょう。

人に押しつけられたり、  
命令されるのは  
だれでも嫌なものです

## ✓ スタッフの身になる

スタッフの考えや行動には理由があるはず。どうしてそうしたのか、そう考えるのか、同じ立場で考えてみましょう。スタッフから出た意見を理解するよう努力してみましょう。

相手の身になってみる  
ことで見えてくること  
があります